

比治山大学

子ども発達教育学科

ニュースレター4号

## ■小学校教員採用試験 結果

速報!

<8/6 現在 一次試験合格者>

○広島県・市	29名	<b>全員合格!</b>	○岡山県	14名
○島根県	6名	<b>全員合格!</b>	○高知県	10名
○福岡市	6名	<b>全員合格!</b>	○愛媛県	2名
○鳥取県	7名		○大阪府	2名

小学校教員採用試験が先月末より全国各地の自治体で始まりま  
した。途中結果ですが、広島県・市、島根県、福岡市については、  
受験した学生**全員が一次試験に合格**しました。また、他の自治  
体の試験でも、順調に合格者数を伸ばしています。

今日も4年生は、仲間と一緒に教員めざしてがんばっています。  
二次試験に向けて、着実に学びを進めています。

## ■「高校生のための保育・教職入門」

### 連続講座 残り2回となりました

子ども発達教育学科では、今年度より「高校生のための保育・  
教職入門」を開催しています。

比治山大学への入学を志望する・しないにかかわらず、保育士・  
教員養成の授業はどのような内容なのか、ぜひ体験し、進路を考  
える一助としてください。残り2回はオープンキャンパス内で実  
施します。各回とも事前予約制での開催です。本学のホームペ  
ージで受付をいたしますので、随時ご確認ください。

- ・第4回 8/29 保育や教育の役割
- ・第5回 9/26 保育・教職をめざすには  
(この回は、学科の学生が授業の一部を担当します)

## ■高3、この時期に頑張ったからよかった!

私が高校3年生の時にやっていたよかったと思うことは、広島市が主催する  
高校生保育体験事業に参加したことで  
す。

この事業では保育の魅力を体験しながら感じたり多くの保育士の方々とかわ  
ったりしました。自分がどのような保育士になりたいのかを考  
える機会をいただき、子どもとの理想的な関わり方を教わる中で自  
分の保育士像を考え、見つけることができました。この保育体験  
事業が「保育士になりたい!」と思う大きなきっかけになりました。



3年 小笠原慧洸 (崇徳高等学校出身)

3号館1階エントランス



HIJYAMA



授業「子どもと表現」



教育実習で

## ■第3回講座「子どもの世界」

子どもは知らないことが多いから、おとなからいろんなことを学びます。  
おとなは忘れたことが多いから、子どもからいろんなおどろきを学びます。  
はじめはみんな子どもだったから、子どものことは誰でもわかる、と思い込んでしまうその前に…。

子どもの見方、子どもの看方、教えます。

子どもの味方になるために。

(講座担当：福伊 智)

## ■私のおすすめ授業

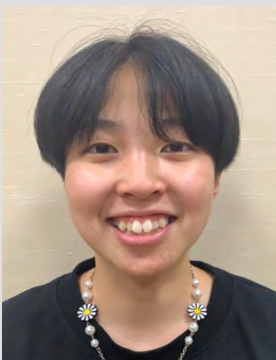


「保育指導法（表現）」は、DVD 視聴やグループ活動を通し、音楽表現能力や指導力の向上を目指す授業です。実際に保育経験を持つ外部講師の先生の授業があり、保育現場で求められる指導能力、態度を養うことができます。

私は授業を通して、学科の仲間との交流や、ダンスや音楽に合わせた身体表現活動をする中で、

楽しみながら保育者としての力を身に付けることができました。座学では経験することのできない実践的な授業だからこそ、学べることが多いと思います。

4年 杉山綾香（島根県立松江南高等学校出身）



「図画工作Ⅱ」の授業では、子どもたちの豊かな創造力や表現力を育むための製作活動を体験し、実践力を身につけていきます。新聞紙や紙コップなど身のまわりにあるものを活用したおもちゃづくりでは、子どもへの指導や援助の仕方も教えていただきました。

授業で、協力して1つの作品を作ることで友達と仲を深めることもできました。いつも手や服を汚しながら夢中になって活動に取り組むことができ、授業中に撮った記録写真は友達との良い思い出の写真となっています。

3年 松枝恵華（広島県立総合技術高等学校出身）



3号館で採用試験対策

